

3 . 河川の整備の実施に関する事項

3.1 河川工事の目的，種類及び施行の場所並びに

当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

3.1.1 河川工事の施行の場所

河川工事の施行場所は次に示すとおりです。

福富ダム ： 賀茂郡福富町久芳地先

河川改修

対象河川及び河川改修区間は表-3.1，図-3.2 に示すとおりです。

表-3.1 対象河川及び河川改修区間

河川名	位 置	区間延長
沼田川下流	[高潮]：河口から上流 0.4km 区間 ：沼田大橋下流 0.4km から淀屋大橋までの 2.5 km区間 [河川]：淀屋大橋から山陽道自動車道高架上流 1.3km までの区間	2.9km 13.3km
沼田川中流	山陽本線橋梁から寺沖橋までの 1.2km 区間	1.2km
梨 和 川	尾原川合流点から上流 0.7km 区間	0.7km
入野川下流	沼田川合流点上流 0.5km から上流 0.8km 区間	0.8km
入野川中流	入野大橋から大谷川合流点までの 1.9km 区間	1.9km
入野川上流 (宮領川)	鍵谷橋上流 1.0km から宮領川分派点上流 0.4km までの 3.0km 区間	3.0km
杵 原 川	入野川合流点から県管理区間上流端の 2.5km 区間	2.5km

図-3.1 施行場所位置図

3.1.2 河川工事の目的，種類及び河川管理施設の機能の概要

(1) 福富ダム

福富ダムは，ダム地点における計画高水流量 $290\text{m}^3/\text{s}$ のうち $200\text{m}^3/\text{s}$ を調節し，既設の椋梨ダムの洪水調節と下流の河川改修と合わせて，平成 11 年 6 月 29 日洪水相当の流量から洪水氾濫を防御します。

また，沼田川の流水の正常な機能を維持するとともに水道用水の安定取水を行うため，10 年に 1 回程度の渇水に対応するものとし，本郷取水地点において，かんがい期(5/1～9/20)は概ね $4.84\text{m}^3/\text{s}$ ，非かんがい期(9/21～4/30)は概ね $2.61\text{m}^3/\text{s}$ を，福富ダムからの補給により確保します。

工事の実施にあたっては，工事による環境への影響を極力軽減し，動植物の生息・生育環境の保全に努めます。

表-3.1 福富ダム諸元

項 目	諸 元
目 的	洪水調節，流水の正常な機能の維持，水道用水の供給
形 式	重力式コンクリートダム
堤 高	約 58 m
堤 頂 長	約 292 m
集水面積	約 53.80 km ²
湛水面積	約 0.70 km ²
総貯水容量	約 1,090 万 m ³

流量配分図，福富ダム湛水区域図，平面図及び越流部断面図を図-3.2(1)～図-3.2(5)に示します。

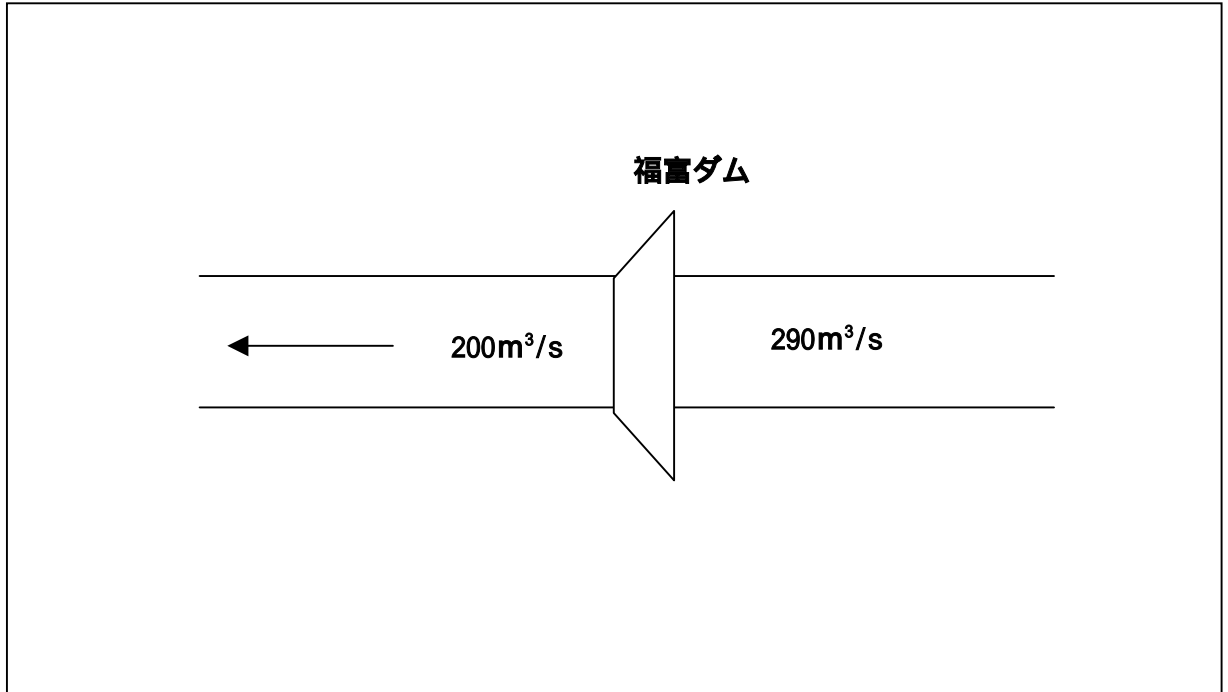


図-3.2(1) 計画高水流量配分図



図-3.2(2) 湛水区域図

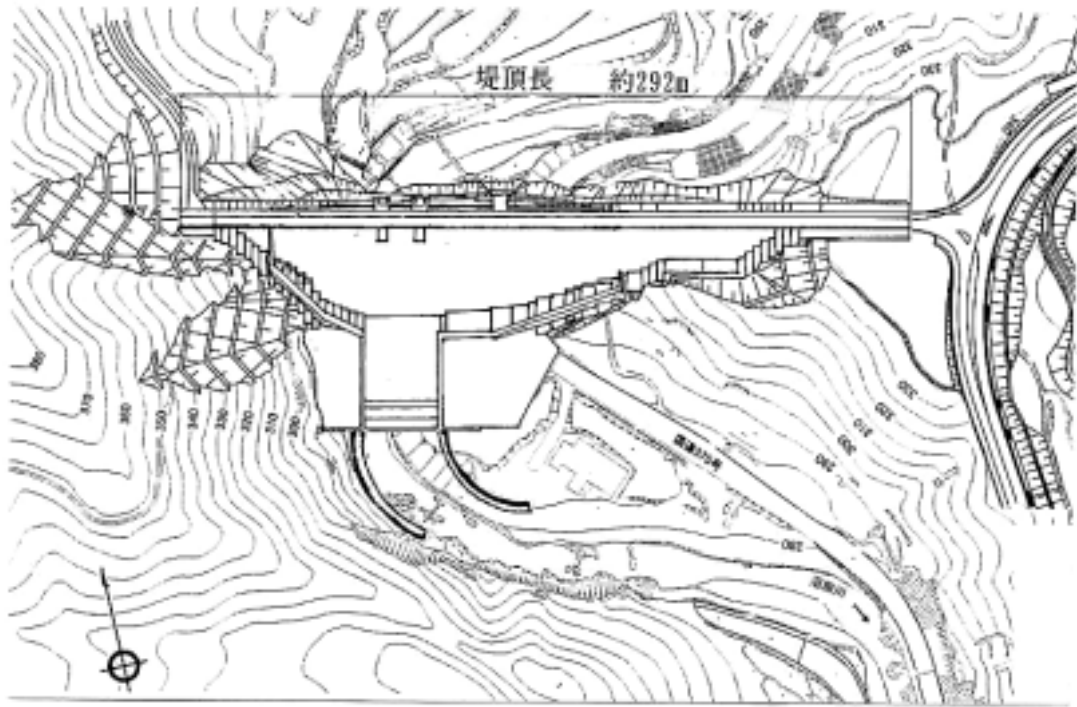


図-3.2(3) 福富ダム平面図

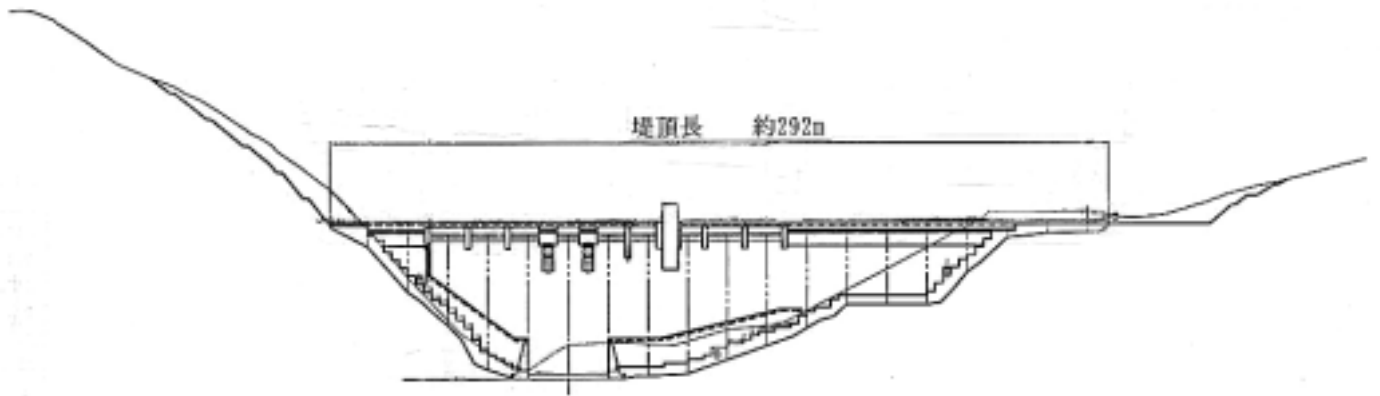


図-3.2(4) 福富ダム下流面図

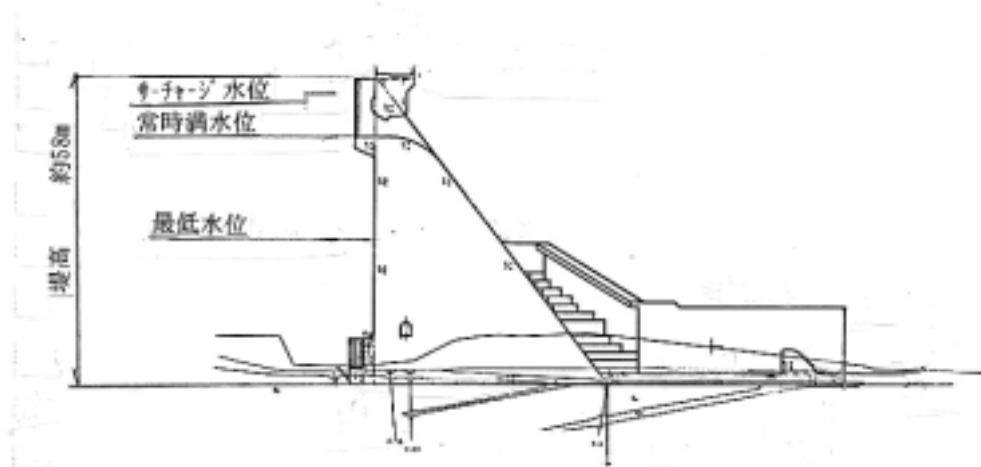


図-3.2(5) 福富ダム横断面図

(2) 河川改修

沼田川下流

河川改修は、上流洪水調節施設による洪水調節後の平成 11 年 6 月 29 日洪水相当の流量を安全に流下させること、異常な高潮から防御することを目的に実施します。

河川改修区間は、河口から 0.4km と沼田大橋下流 0.4km から淀屋大橋までの 2.5km 区間の合計 2.9km の高潮区間と、河道の流下能力が不足している淀屋大橋から山陽自動車道高架上流 1.3km の 13.3km 区間を実施します。

河川改修については、七宝基準点において目標の計画高水流量 $1,400\text{m}^3/\text{s}$ が安全に流下できるよう、沿川の市街化状況と天井川の様相呈する河道状況を勘案し、大幅な引提や築堤を避け、主に河床掘削（一部引提）により河道断面積を確保します。

また、河川改修を行う際には、澇筋や瀬、淵の復元を図るなど、河道及び周辺自然環境に配慮した整備に努めるとともに、魚類等の遡上、降下に支障を来している堰や魚道の改良など、河川環境の改善に努めます。

流量配分図、平面図及び縦横断面図を図-3.3(1)～図-3.3(4)に示します。

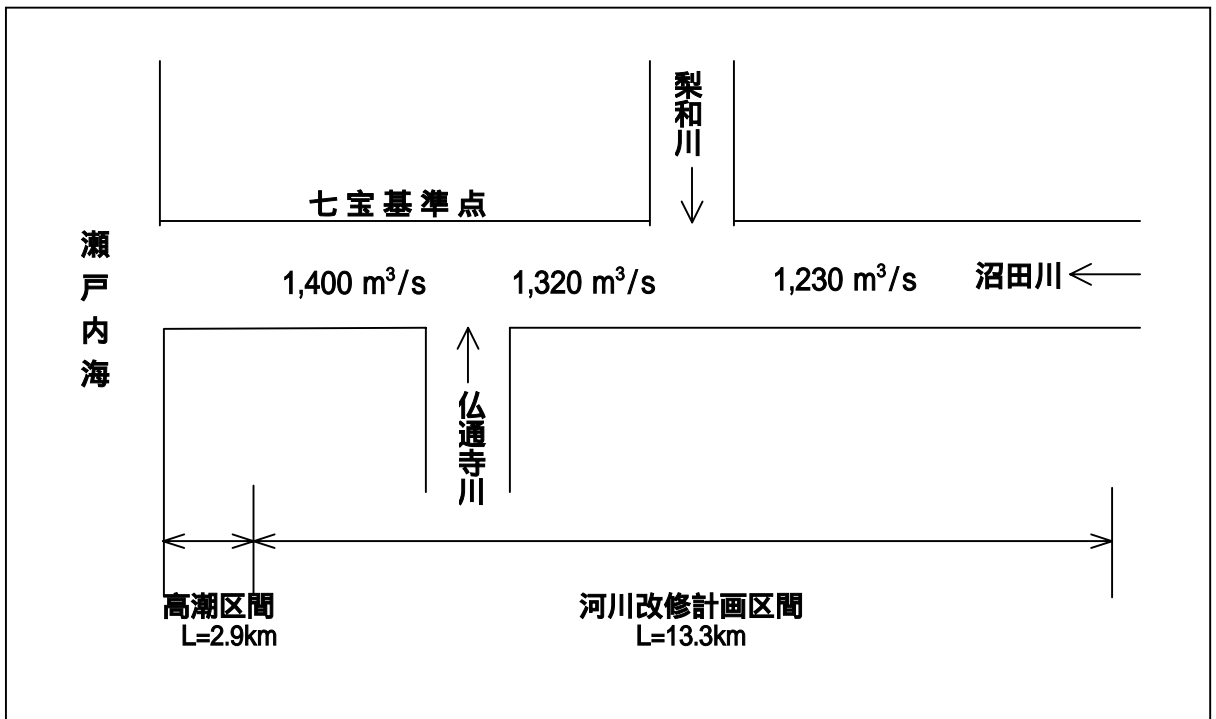


図-3.3(1) 沼田川下流流量配分図

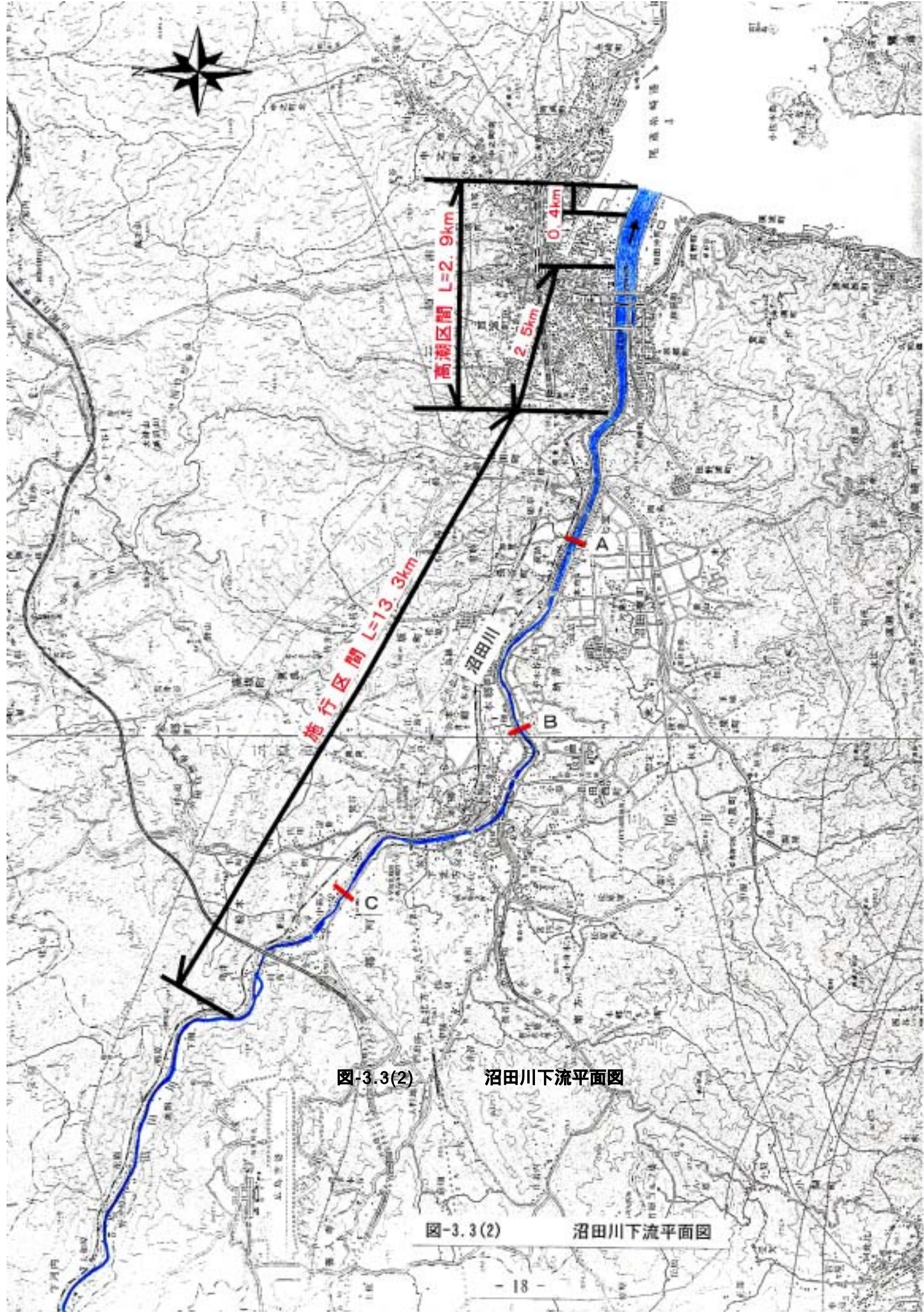


图-3.3(2) 沼田川下流平面图

图-3.3(2) 沼田川下流平面图

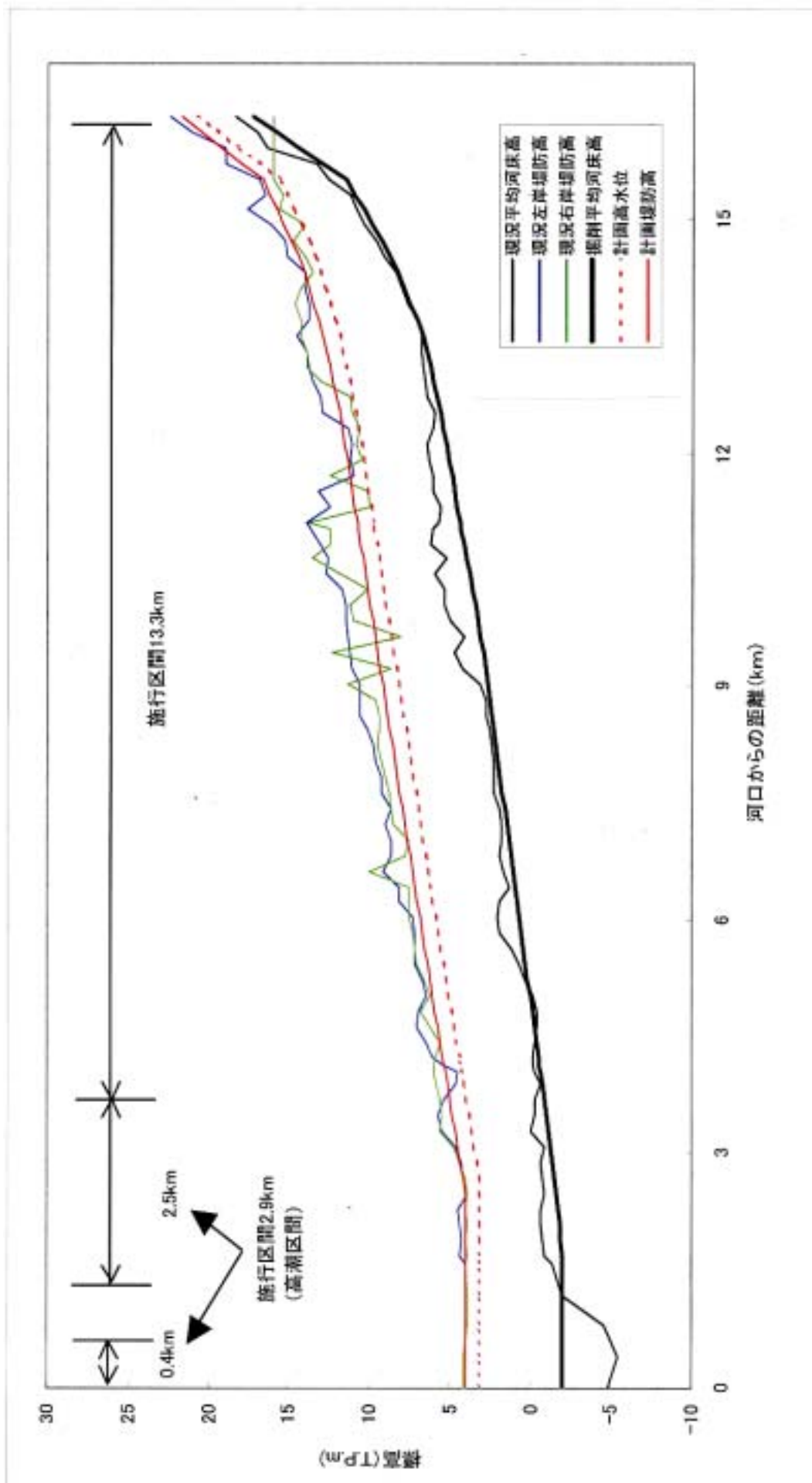


図-3.3(3) 沼田川下流縦断面図

図-3.3(4) 沼田川下流横断面図

沼田川中流

沼田川中流の河川改修は，平成 11 年 6 月 29 日洪水相当の流量を安全に流下させることを目的に実施します。

河川改修区間は，流下能力が不足している河内町の山陽本線橋梁から寺沖橋までの 1.2km 区間を実施します。

河川改修については，最下流部の目標の計画高水流量 $730\text{m}^3/\text{s}$ が安全に流下できるよう主に引堤及び河床掘削により河道断面積を確保します。

流量配分図，平面図及び縦横断面図を図-3.4(1)～図-3.4(4)に示します。

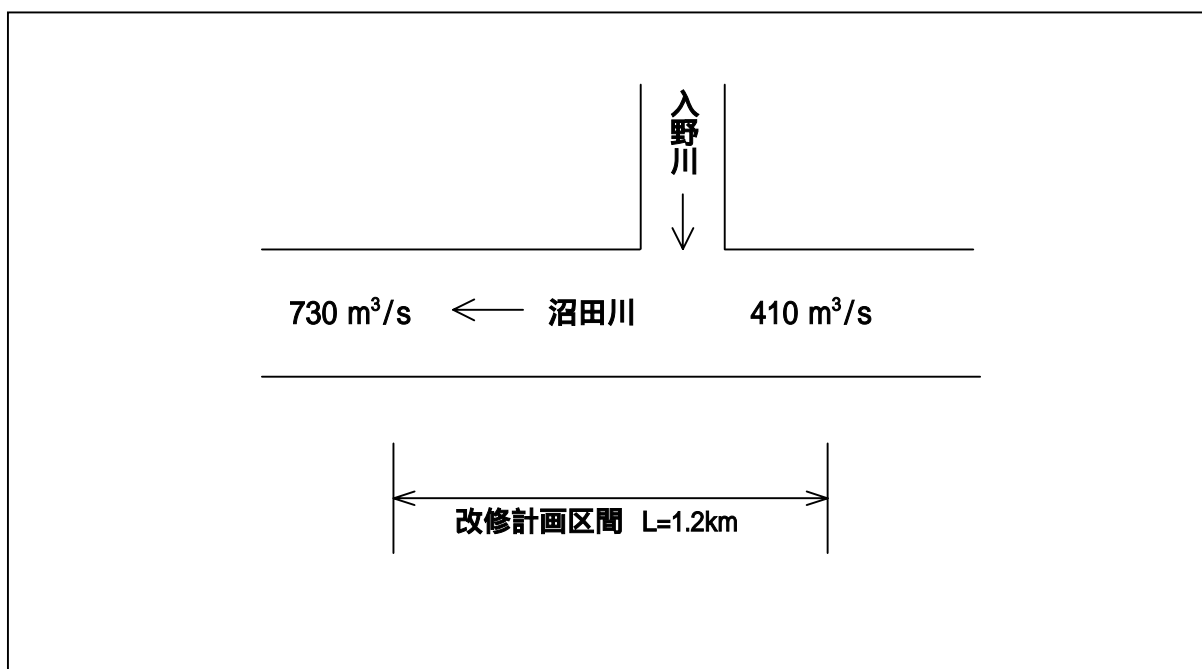


図-3.4(1) 沼田川中流流量配分図

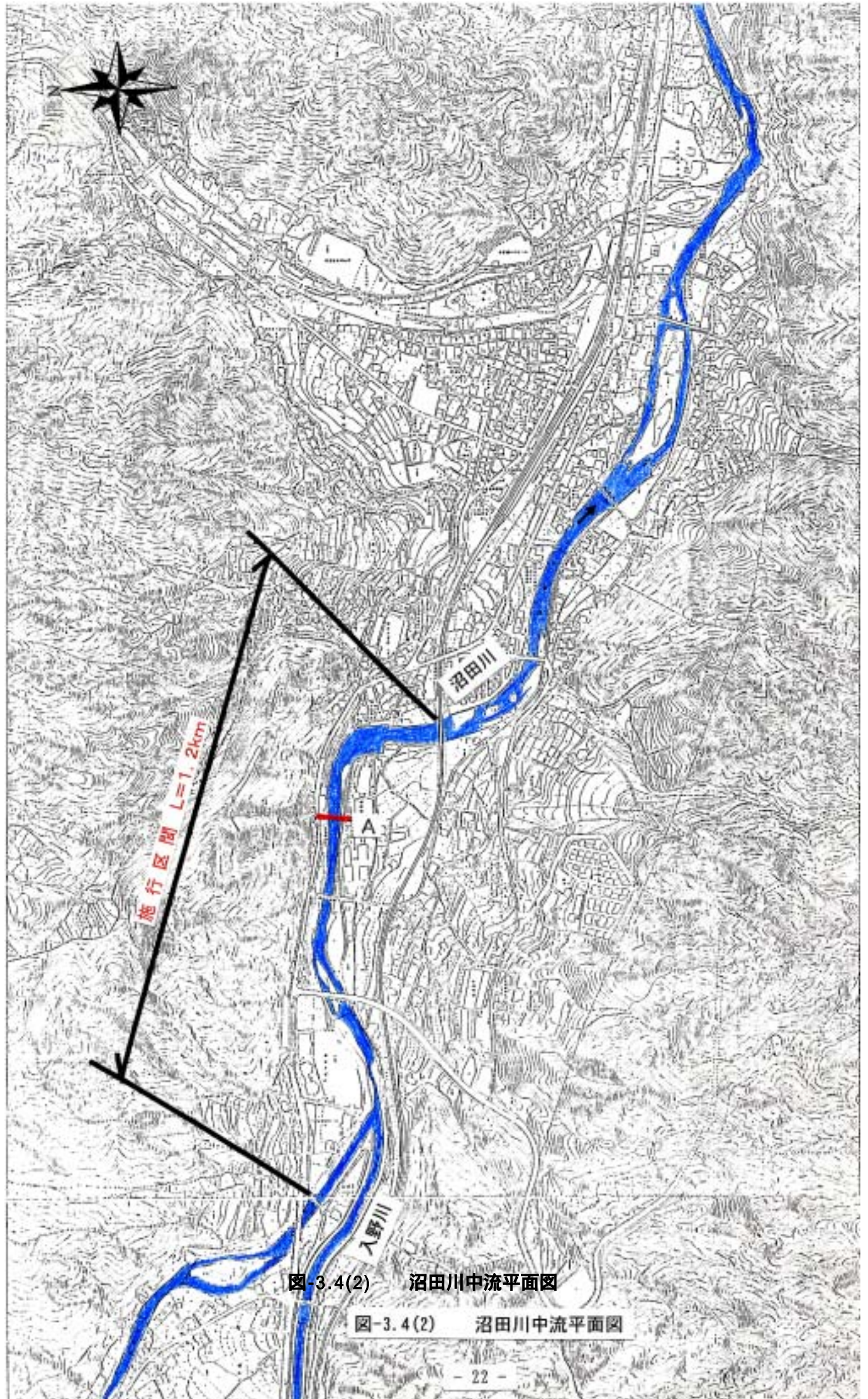


图-3.4(2) 沼田川中流平面图

图-3.4(2) 沼田川中流平面图

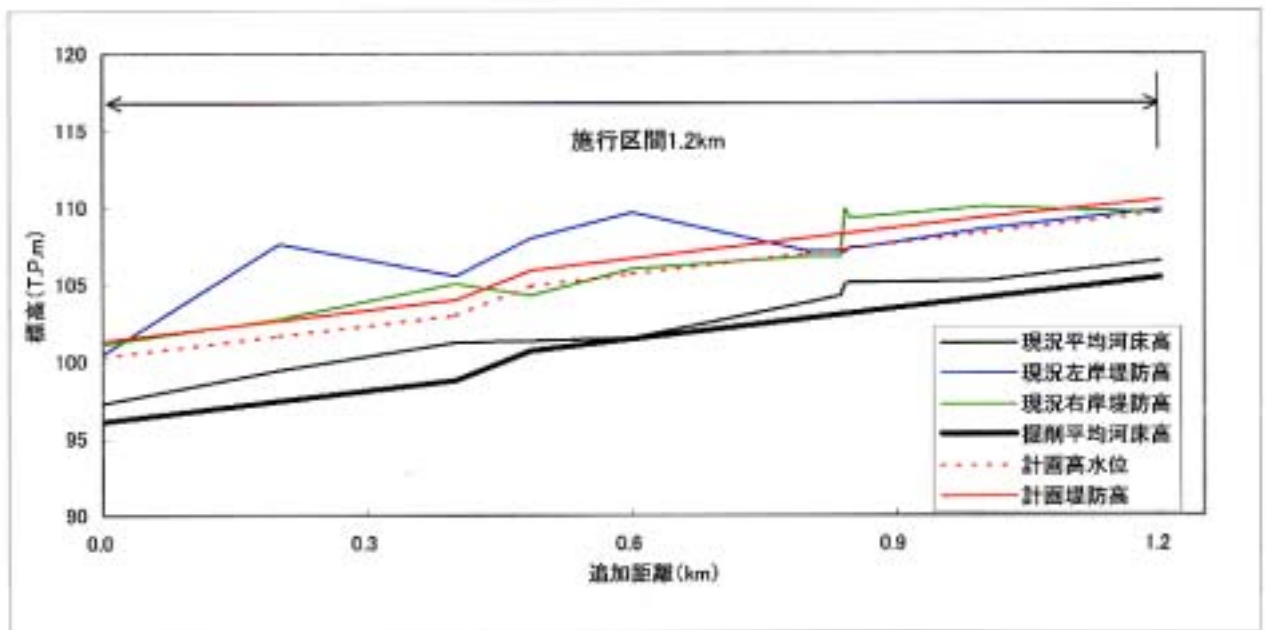


図-3.4(3) 沼田川中流縦断面図

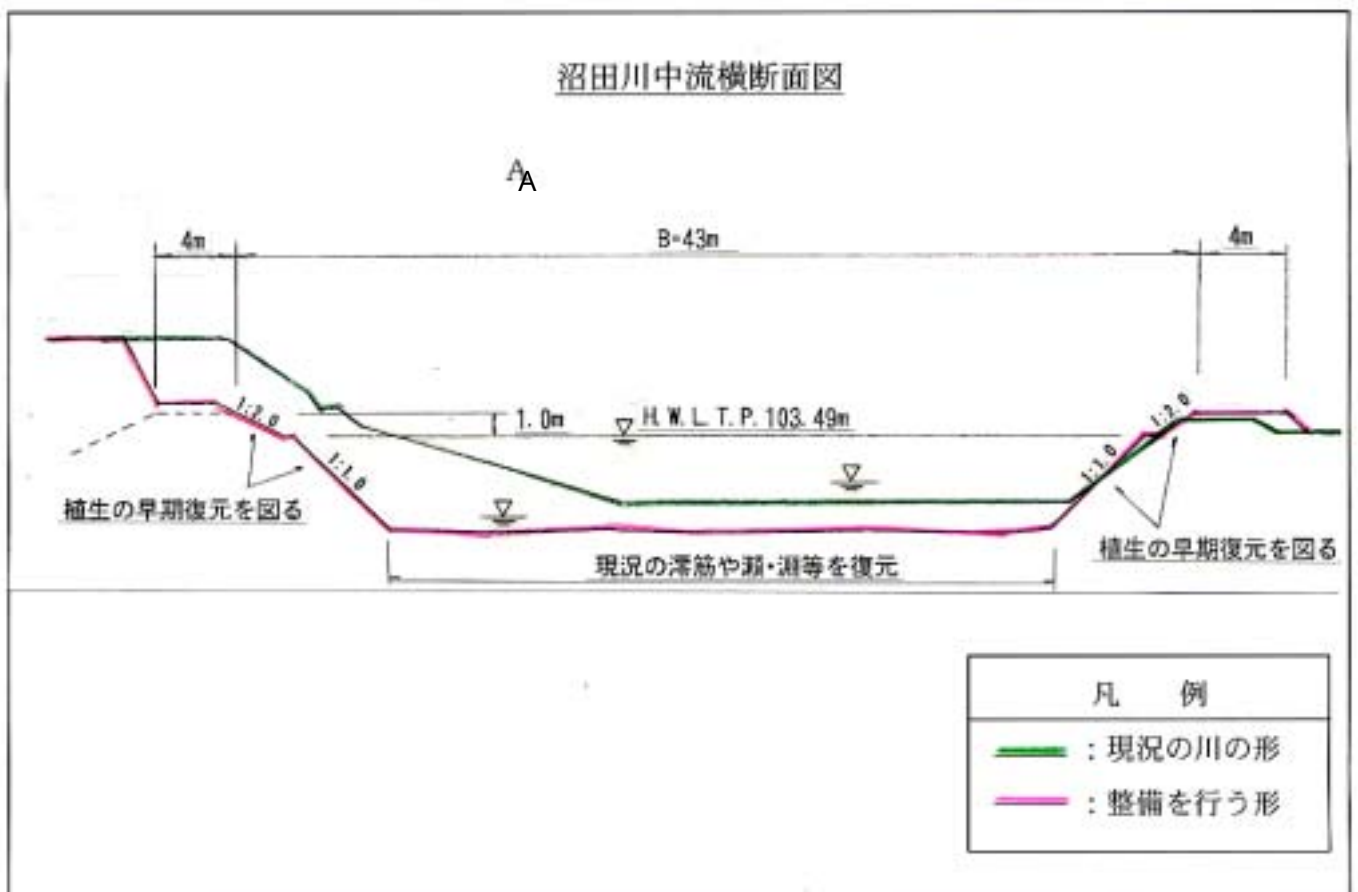


図-3.4(4) 沼田川中流横断面図

梨和川

梨和川の河川改修は、平成 11 年 6 月 29 日洪水相当の流量を安全に流下させることを目的に実施します。

河川改修区間は、流下能力が不足している尾原川合流点から上流 0.7km 区間を実施します。

河川改修は、目標の計画高水流量 $100\text{m}^3/\text{s}$ が安全に流下できるよう主に引堤及び河床掘削により河道断面積を確保します。

流量配分図、平面図及び縦横断面図を図-3.5(1)～図-3.5(4)に示します。

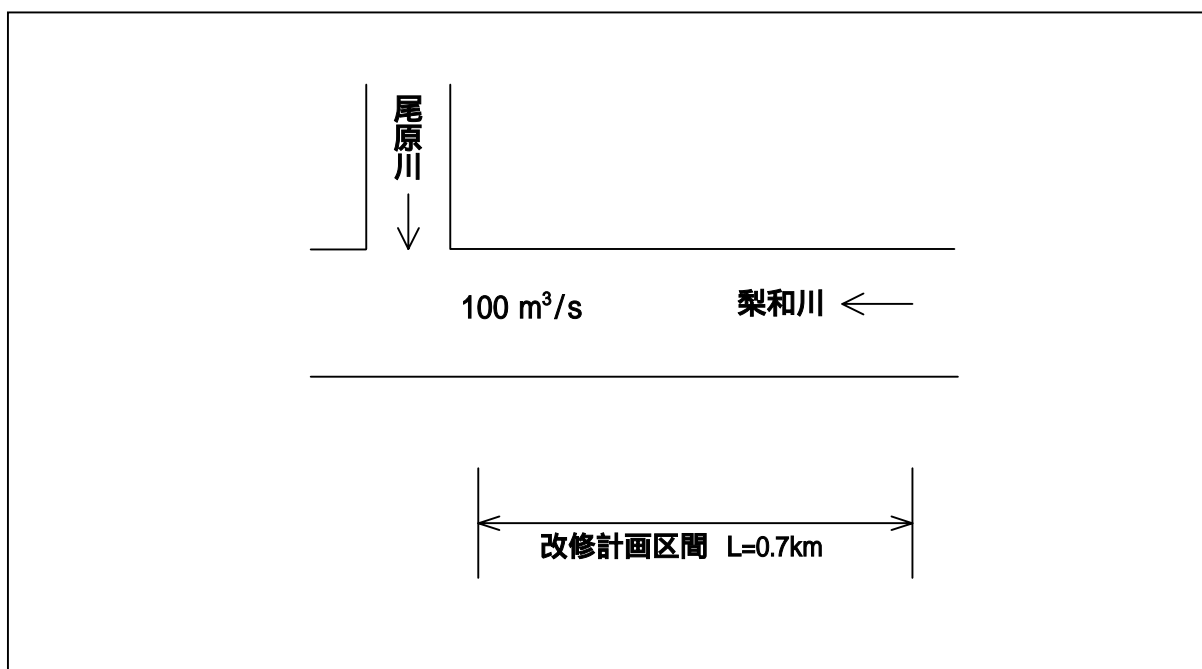


図-3.5(1) 梨和川流量配分図

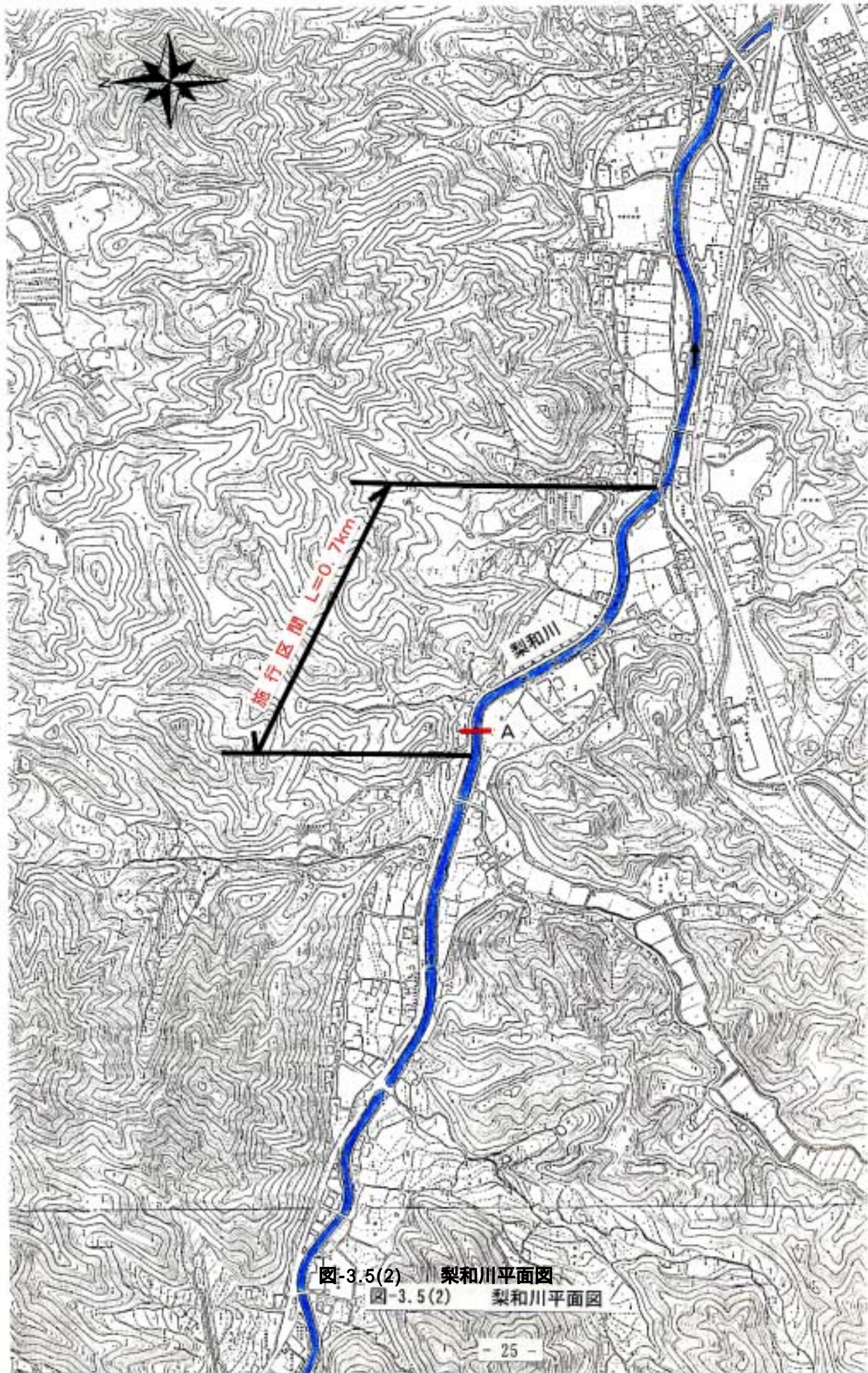


图-3.5(2) 梨和川平面图

图-3.5(2) 梨和川平面图

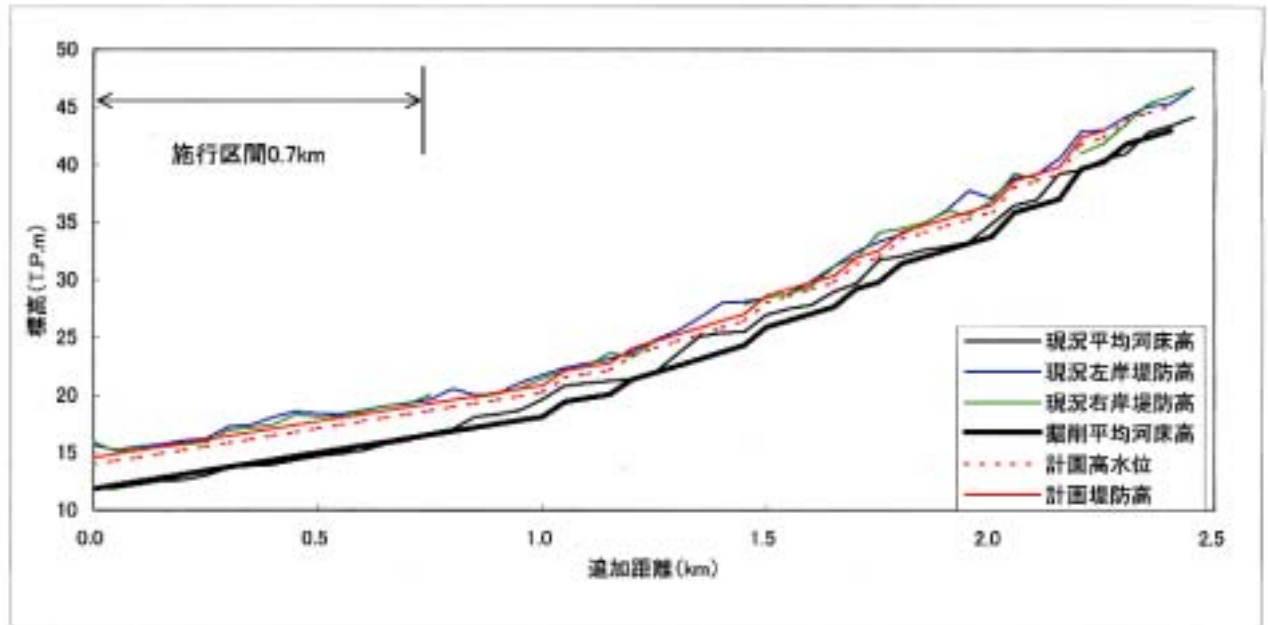


図-3.5(3) 梨和川縦断面図

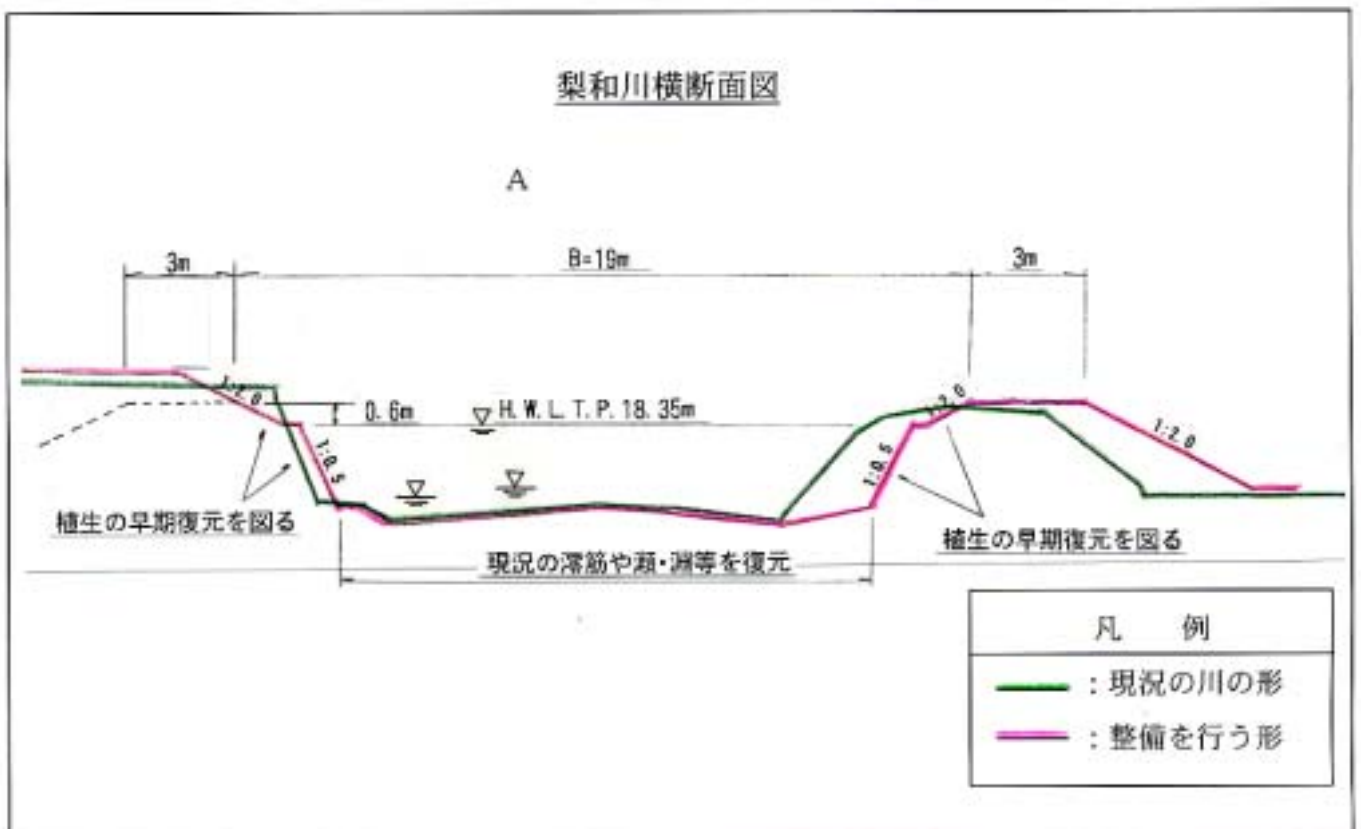


図-3.5(4) 梨和川横断面図

入野川下流

入野川下流の河川改修は、平成 11 年 6 月 29 日洪水相当の流量を安全に流下させることを目的に実施します。

河川改修区間は、流下能力が不足している沼田川合流点上流 0.5km から J R 山陽線高架までの 0.8km 区間を実施します。

河川改修は、目標の計画高水流量 $320\text{m}^3/\text{s}$ が安全に流下できるよう主に引堤及び河床掘削により河道断面積を確保します。

流量配分図、平面図及び縦横断面図を図-3.6(1)～図-3.6(4)に示します。

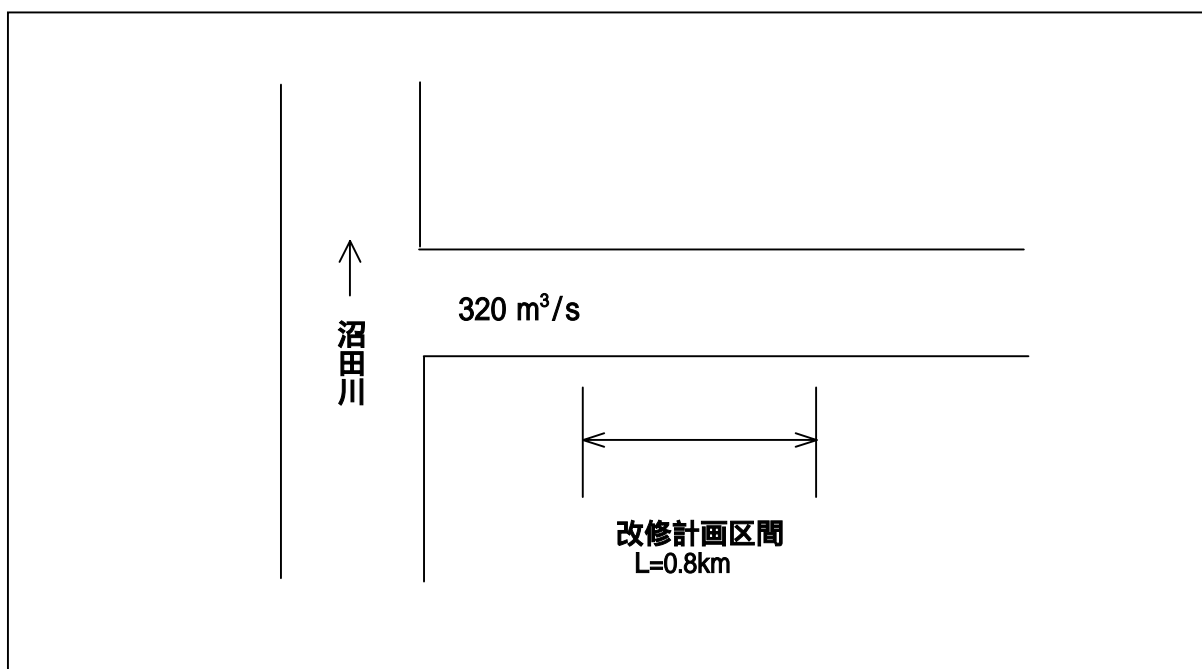


図-3.6(1) 入野川下流流量配分図

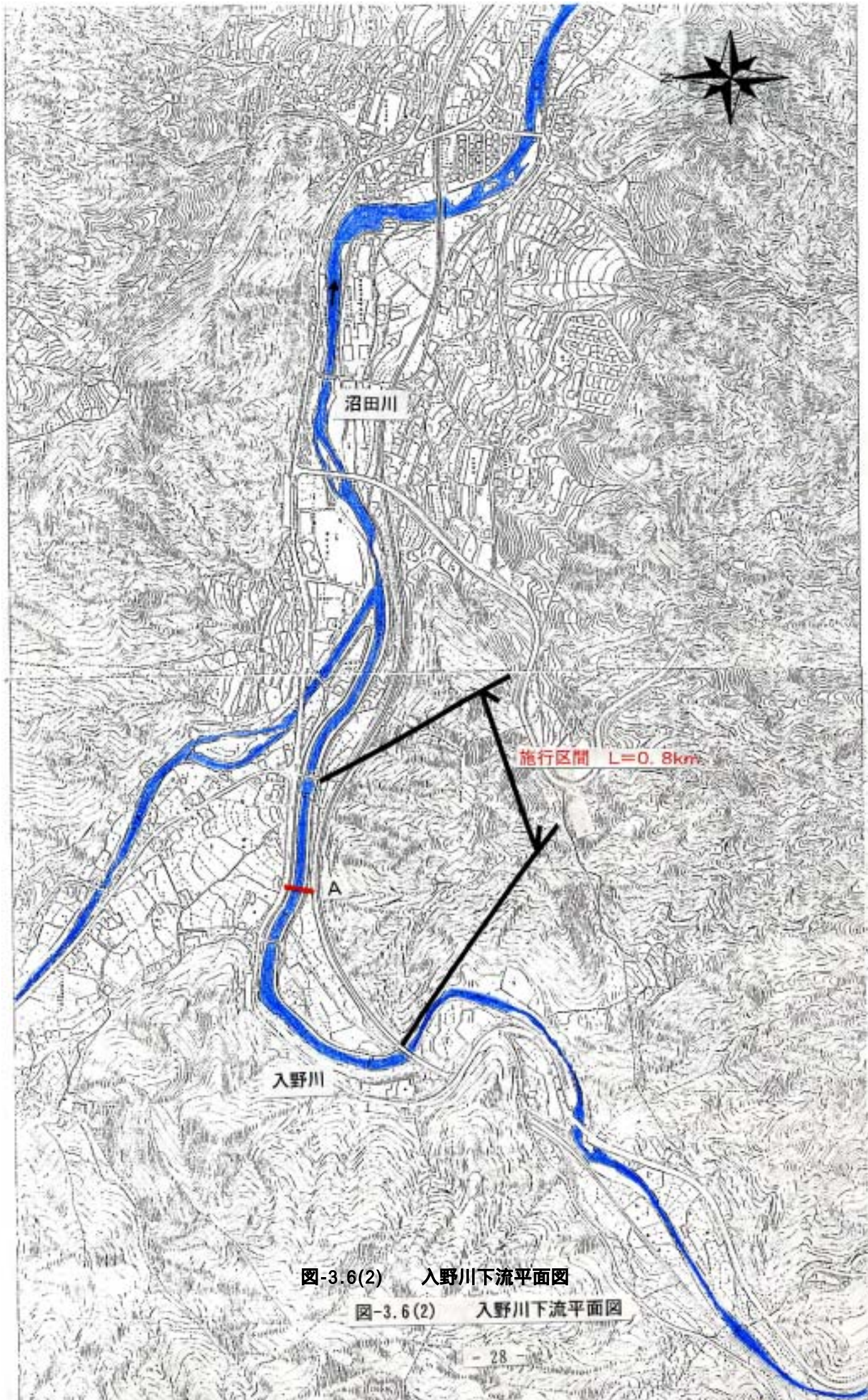


图-3.6(2) 入野川下流平面图

图-3.6(2) 入野川下流平面图

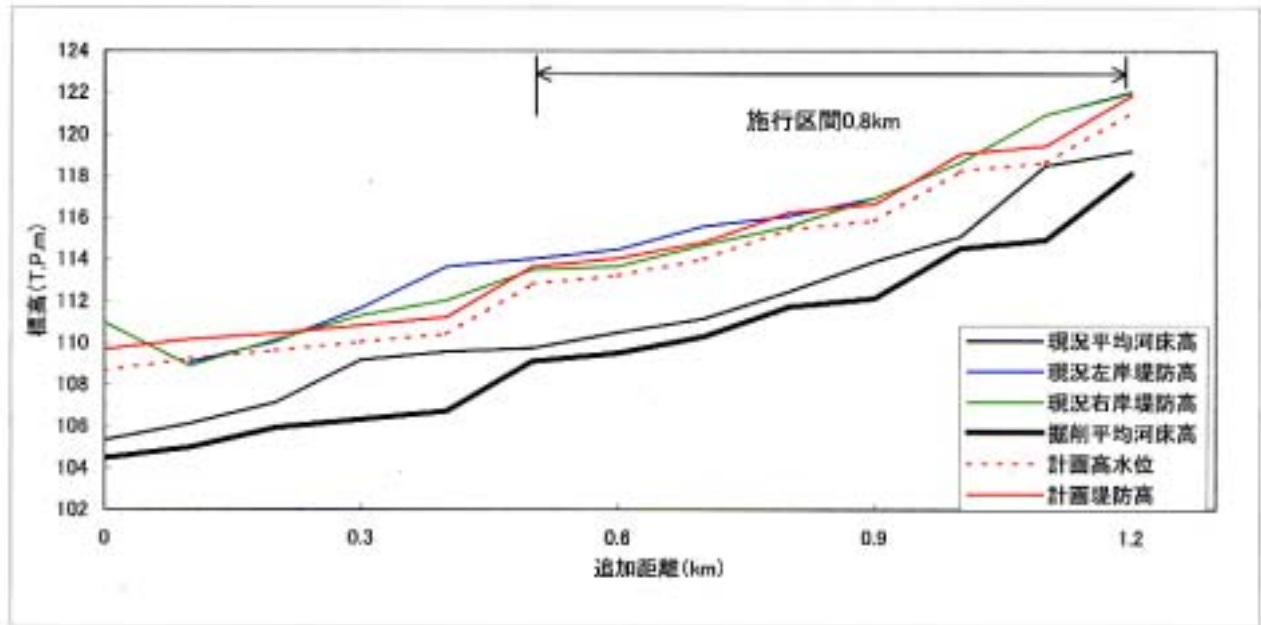


図-3.6(3) 入野川下流縦断面図

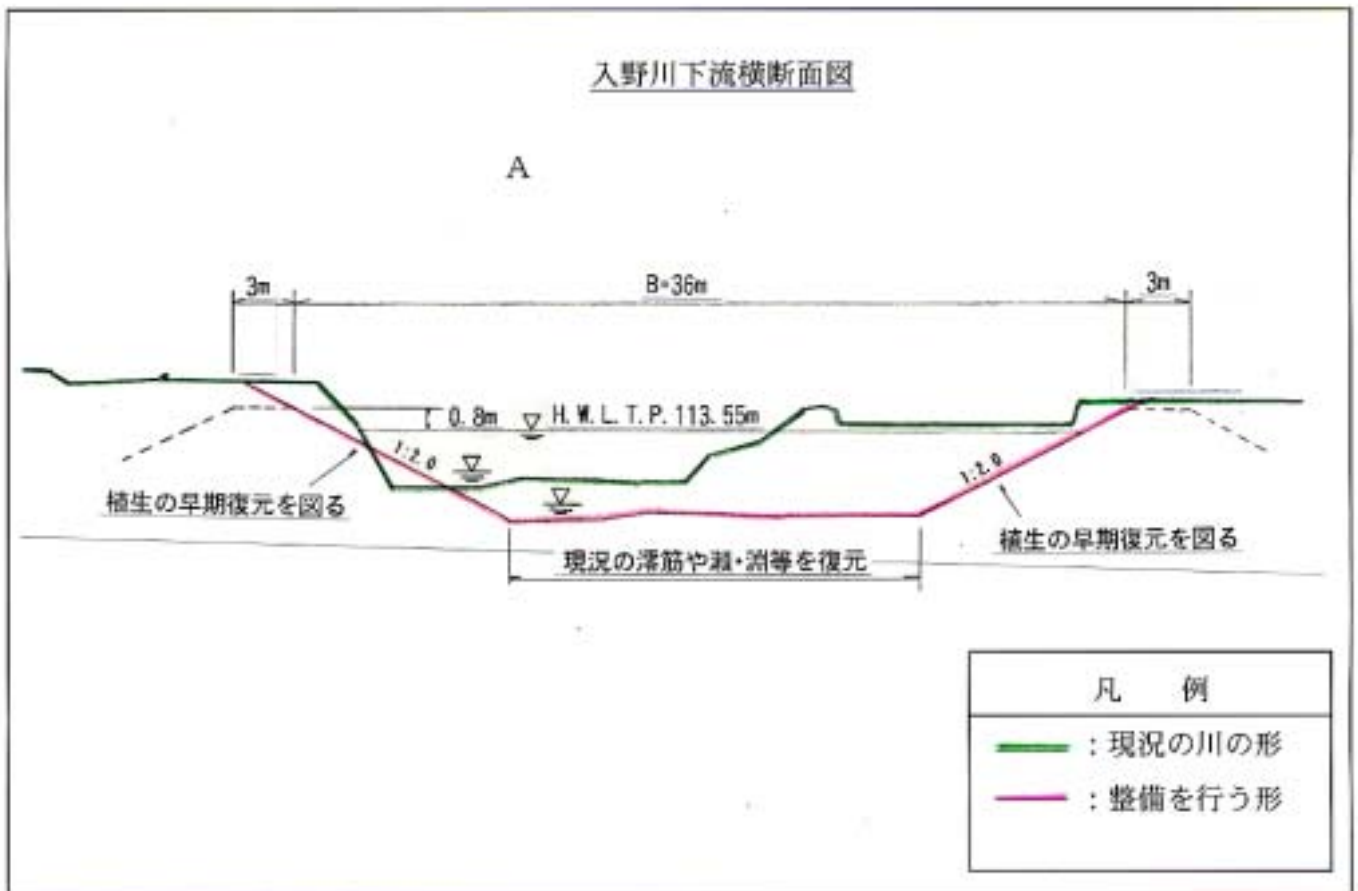


図-3.6(4) 入野川下流横断面図

入野川中流

入野川中流の河川改修は、平成 11 年 6 月 29 日洪水相当の流量を安全に流下させることを目的に実施します。

河川改修区間は、流下能力が不足している入野大橋から大谷川合流点までの 1.9km 区間を実施します。

河川改修は、最下流部の目標の計画高水流量 $320\text{m}^3/\text{s}$ が安全に流下できるよう主に引堤及び河床掘削により河道断面積を確保します。

流量配分図、平面図及び縦横断面図を図-3.7(1)～図-3.7(4)に示します。

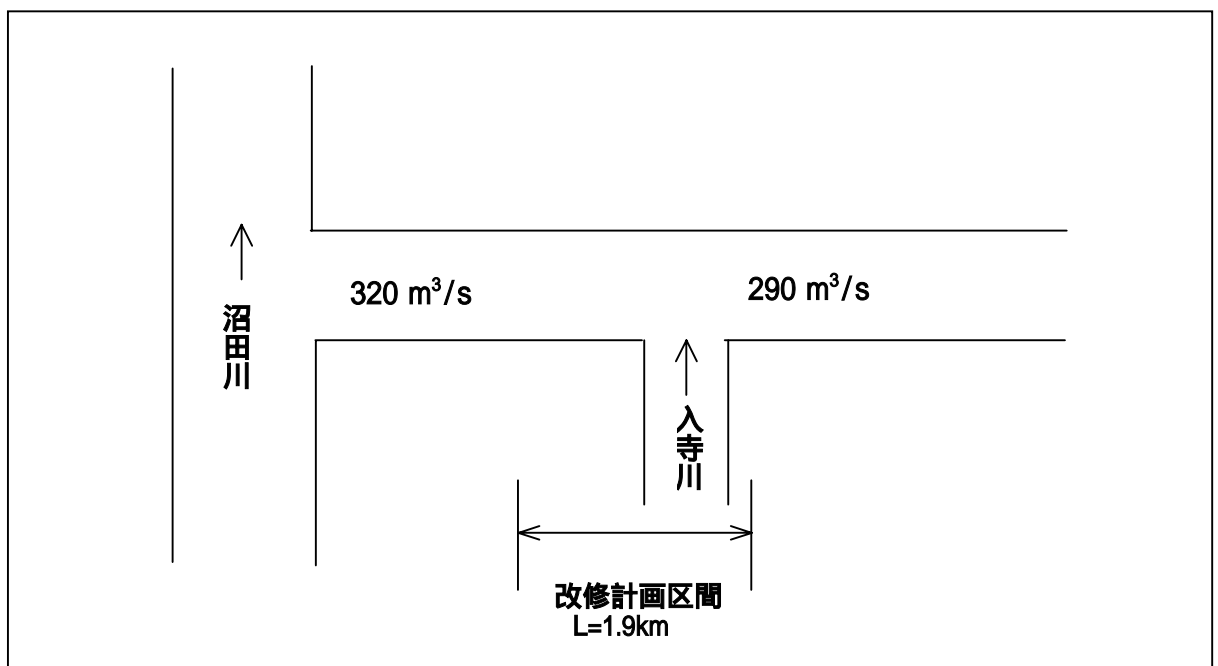
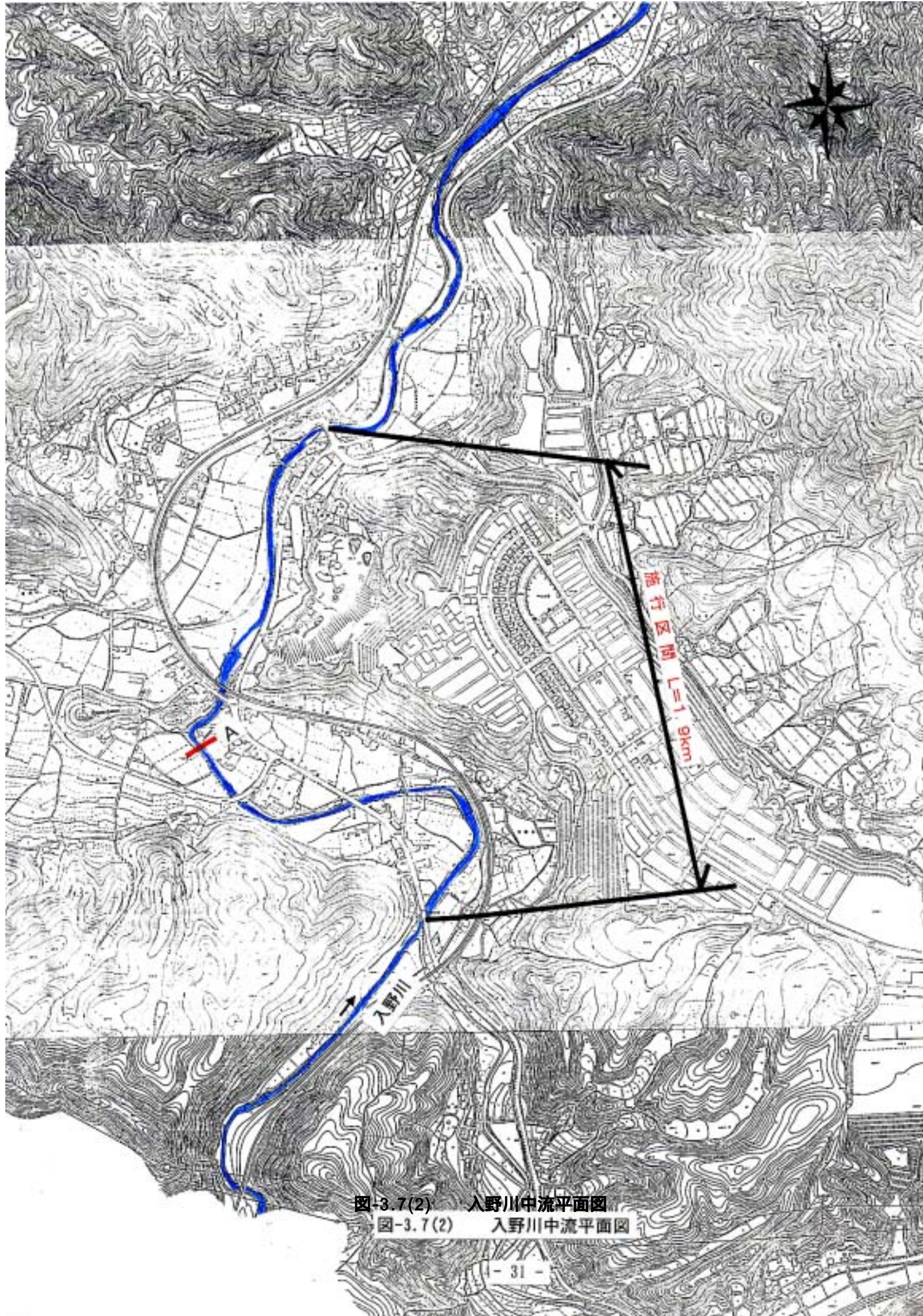


図-3.7(1) 入野川中流流量配分図



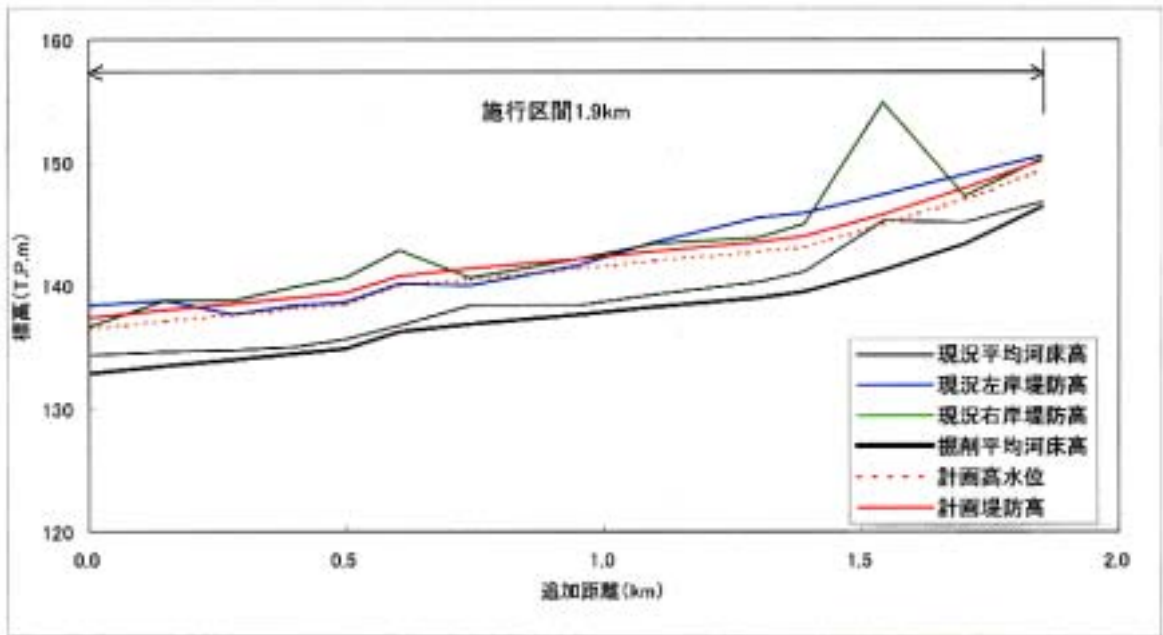


図-3.7(3) 入野川中流縦断面図

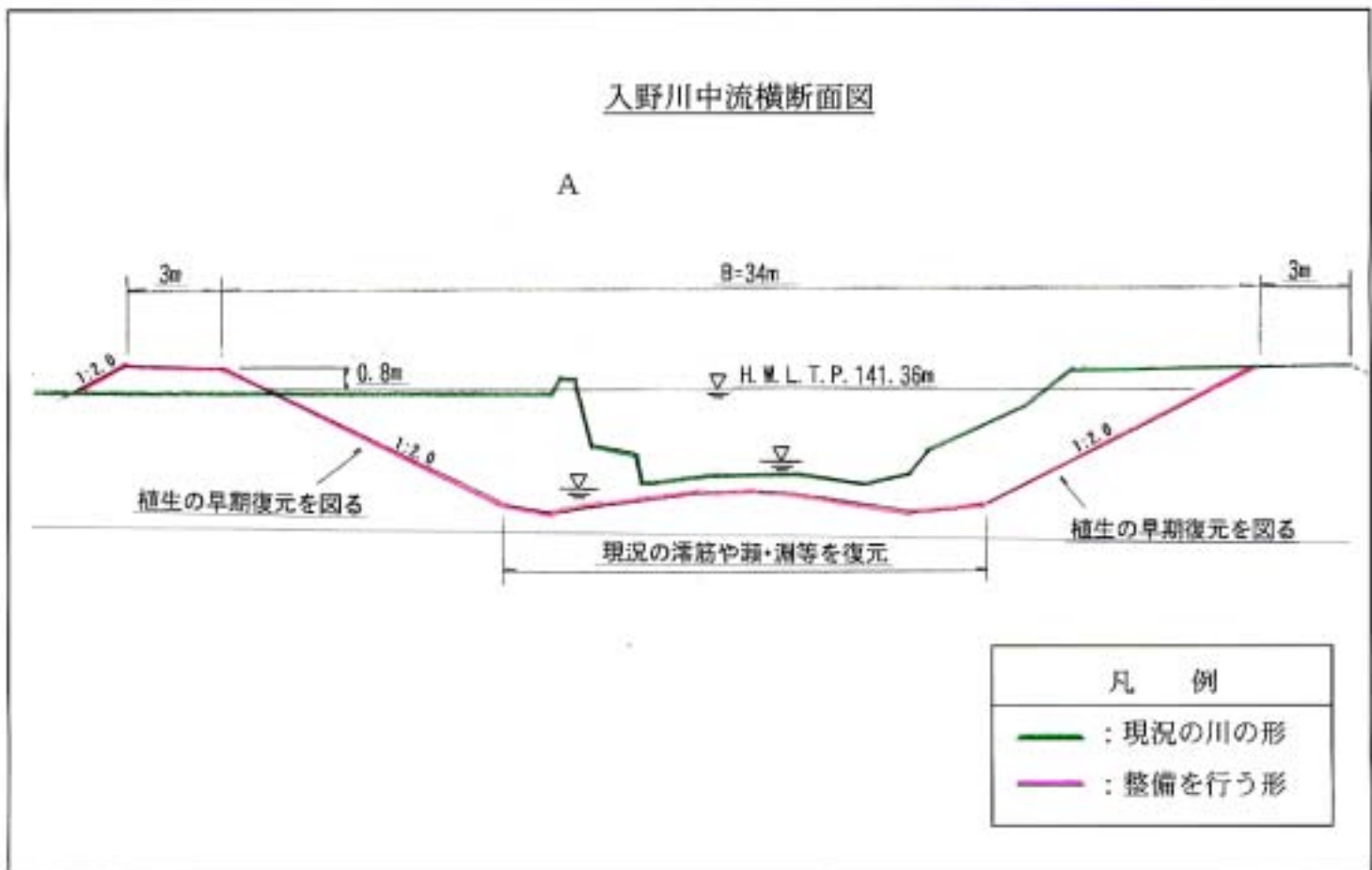


図-3.7(4) 入野川中流横断面図

入野川上流（宮領川）

入野川上流（宮領川）は，平成 11 年 6 月 29 日洪水相当の流量を安全に流下させることを目的とし，河川改修及びトンネル放水路の設置を行います。

河川改修区間は，流下能力が不足している鍵谷橋上流 1.0km から宮領川分派点上流 0.4km までの 3.0km 区間を実施します。

河川改修は，最下流部の目標の計画高水流量 $180\text{m}^3/\text{s}$ が安全に流下できるよう主に引堤及び河床掘削により河道断面積を確保します。

トンネル放水路は，現在あるトンネルを改築し，目標の計画高水流量 $40\text{m}^3/\text{s}$ が安全に流下できるようトンネルの断面積を確保します。

流量配分図，平面図及び縦横断面図を図-3.8(1)～図-3.8(4)に示します。

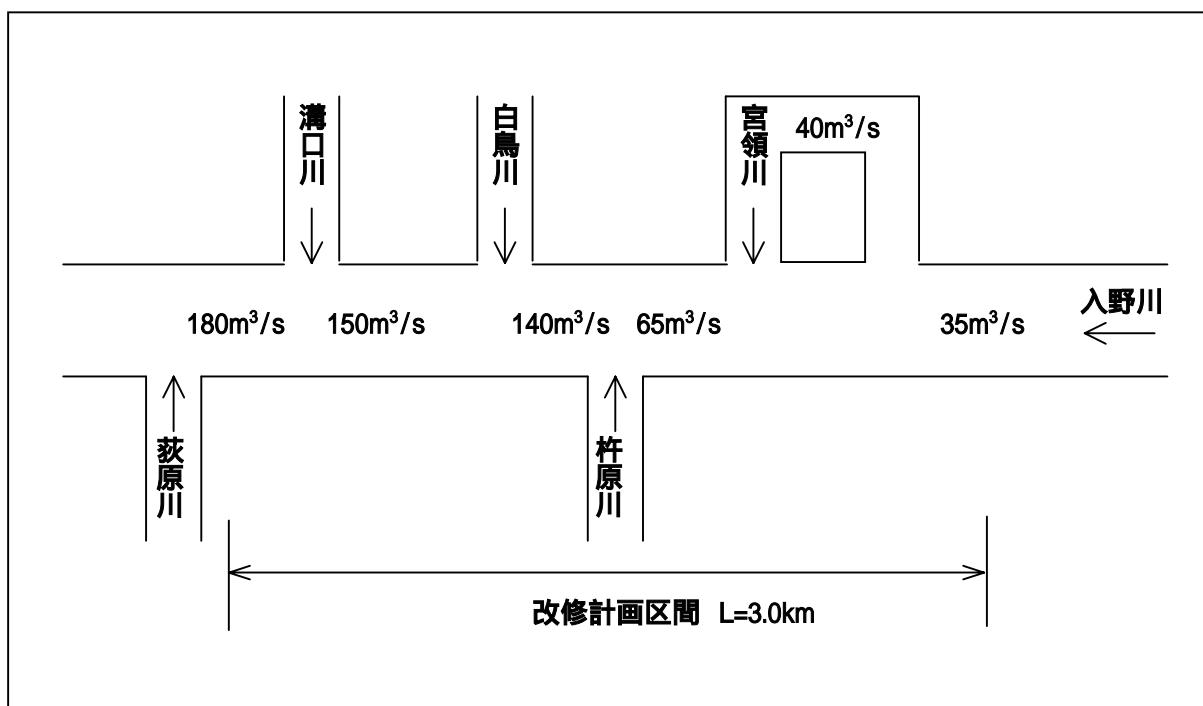


図-3.8(1) 入野川上流（宮領川）流量配分図

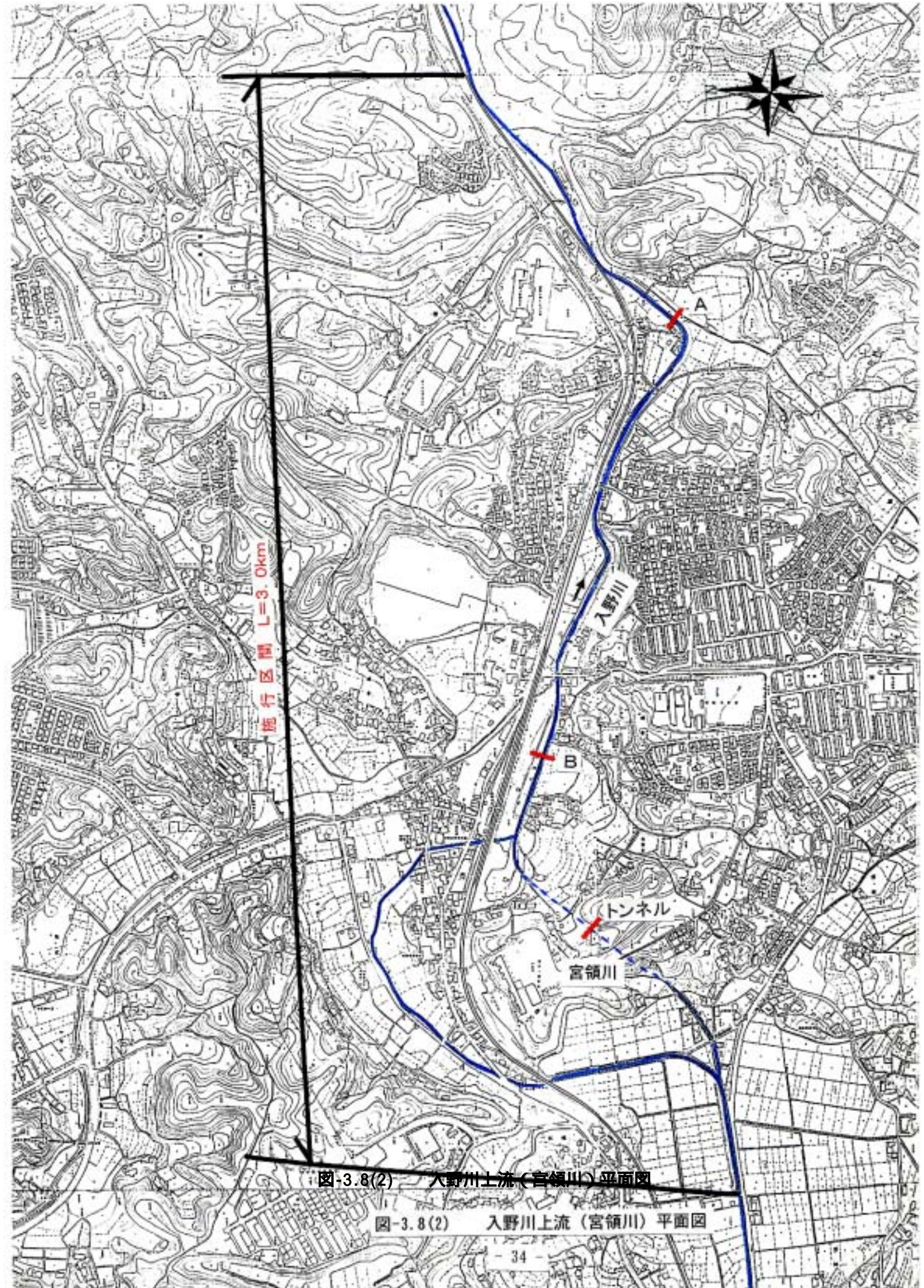


図-3.8(2) 入野川上流(宮領川)平面図

図-3.8(2) 入野川上流(宮領川)平面図

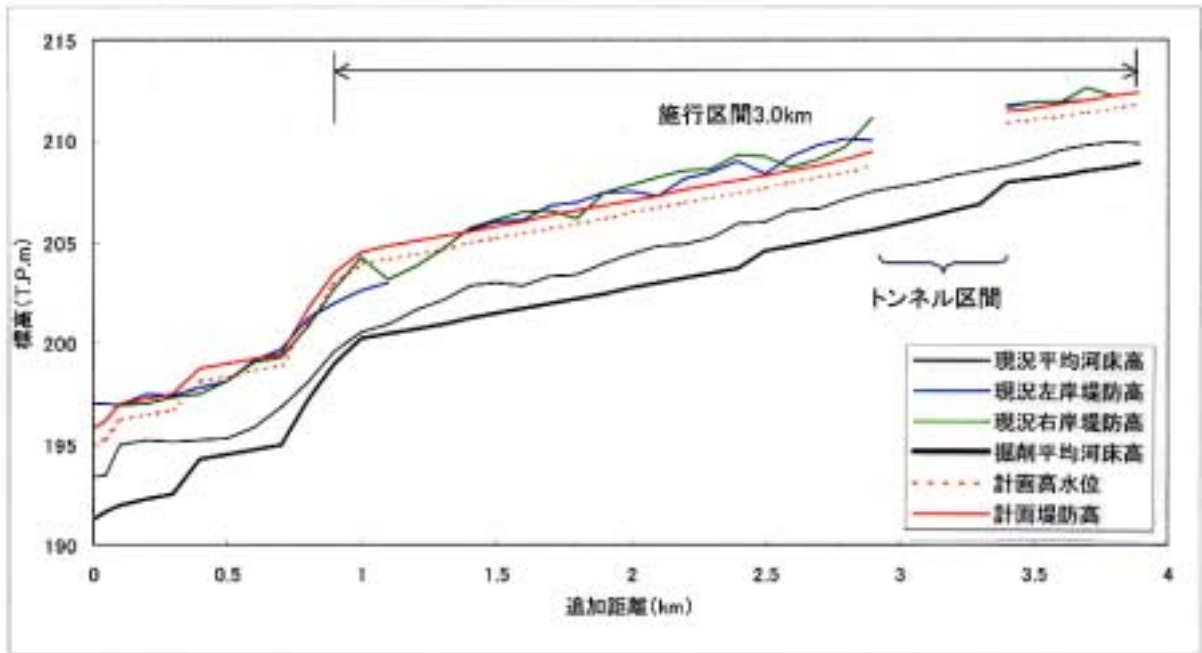
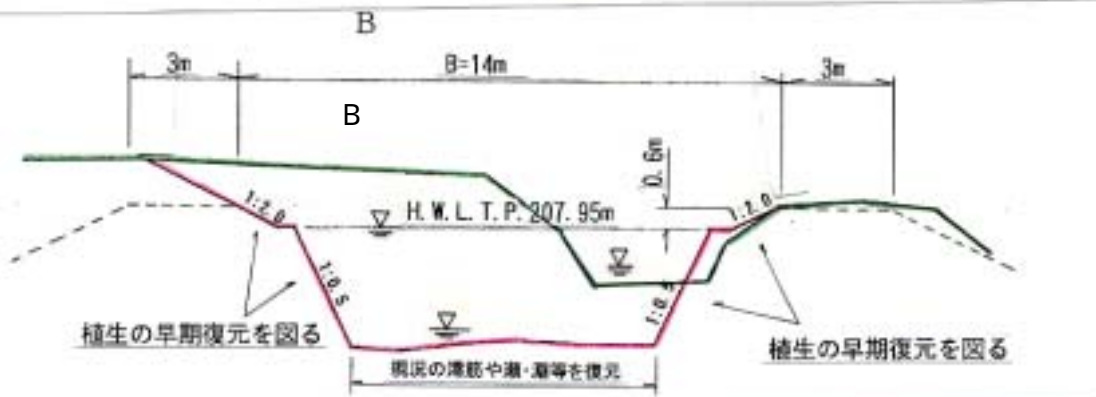
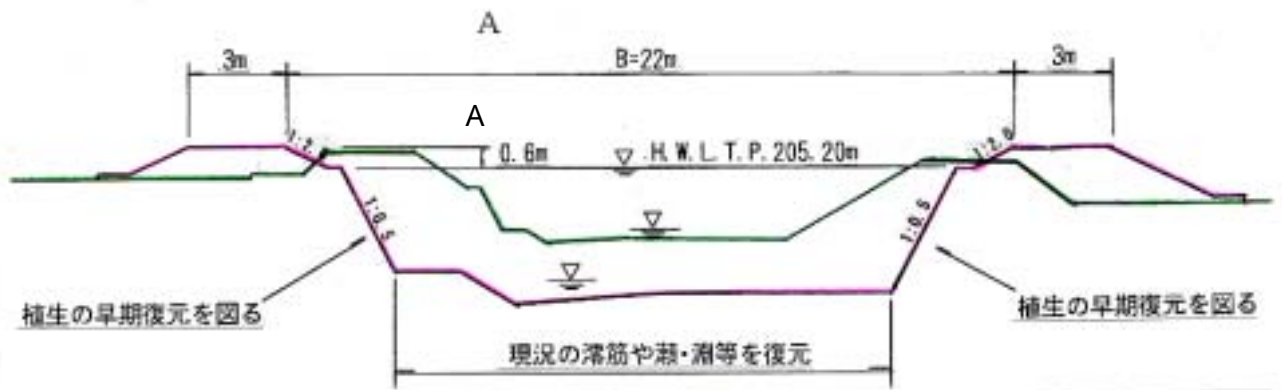
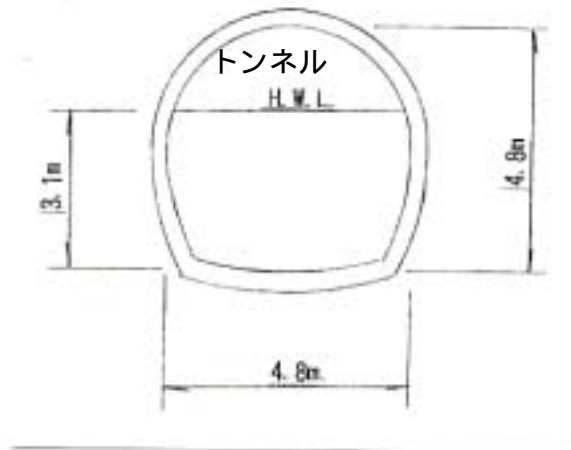


図-3.8(3) 入野川上流(宮領川)縦断面図

入野川上流(宮領川)横断面図



トンネル



凡 例	
—	: 現況の川の形
—	: 整備を行う形

図-3.8(4) 入野川上流(宮領川)横断面図

杵原川

杵原川の河川改修は、平成 11 年 6 月 29 日洪水相当の流量を安全に流下させることを目的に実施します。

河川改修区間は、流下能力が不足している入野川合流点から県管理区間上流端までの 2.5km 区間を実施します。

河川改修は、目標の計画高水流量 $65\text{m}^3/\text{s}$ が安全に流下できるよう主に引堤及び河床掘削により河道断面積を確保します。

流量配分図、平面図及び縦横断面図を図-3.9(1)～図-3.9(4)に示します。

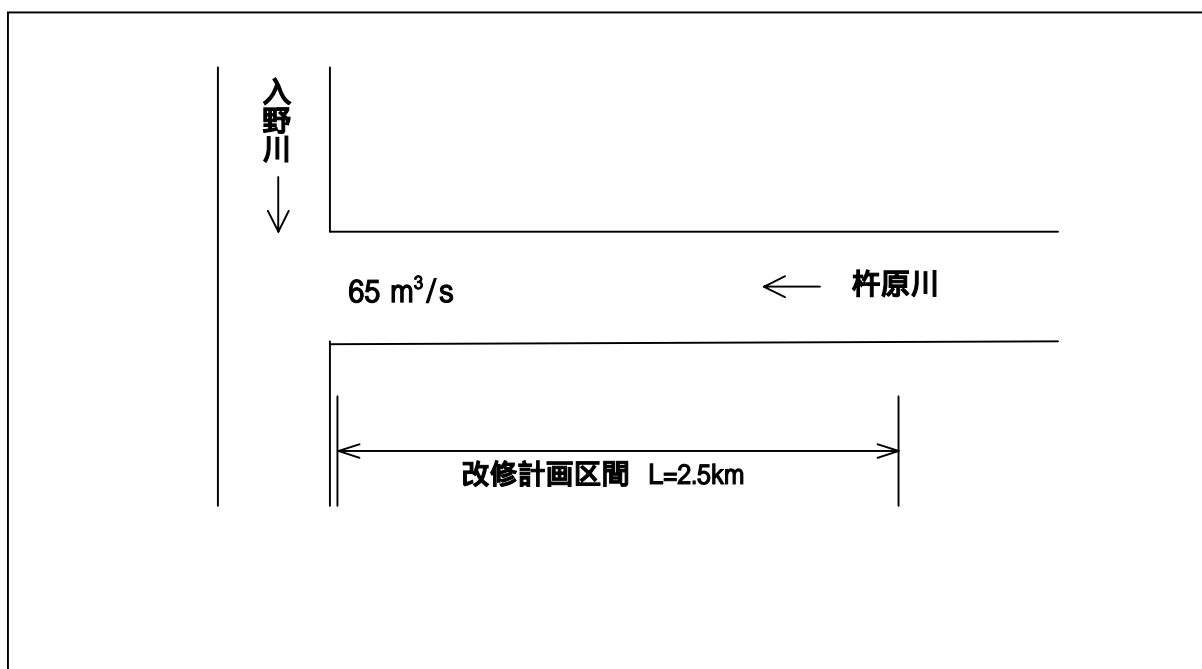


図-3.9(1) 杵原川流量配分図

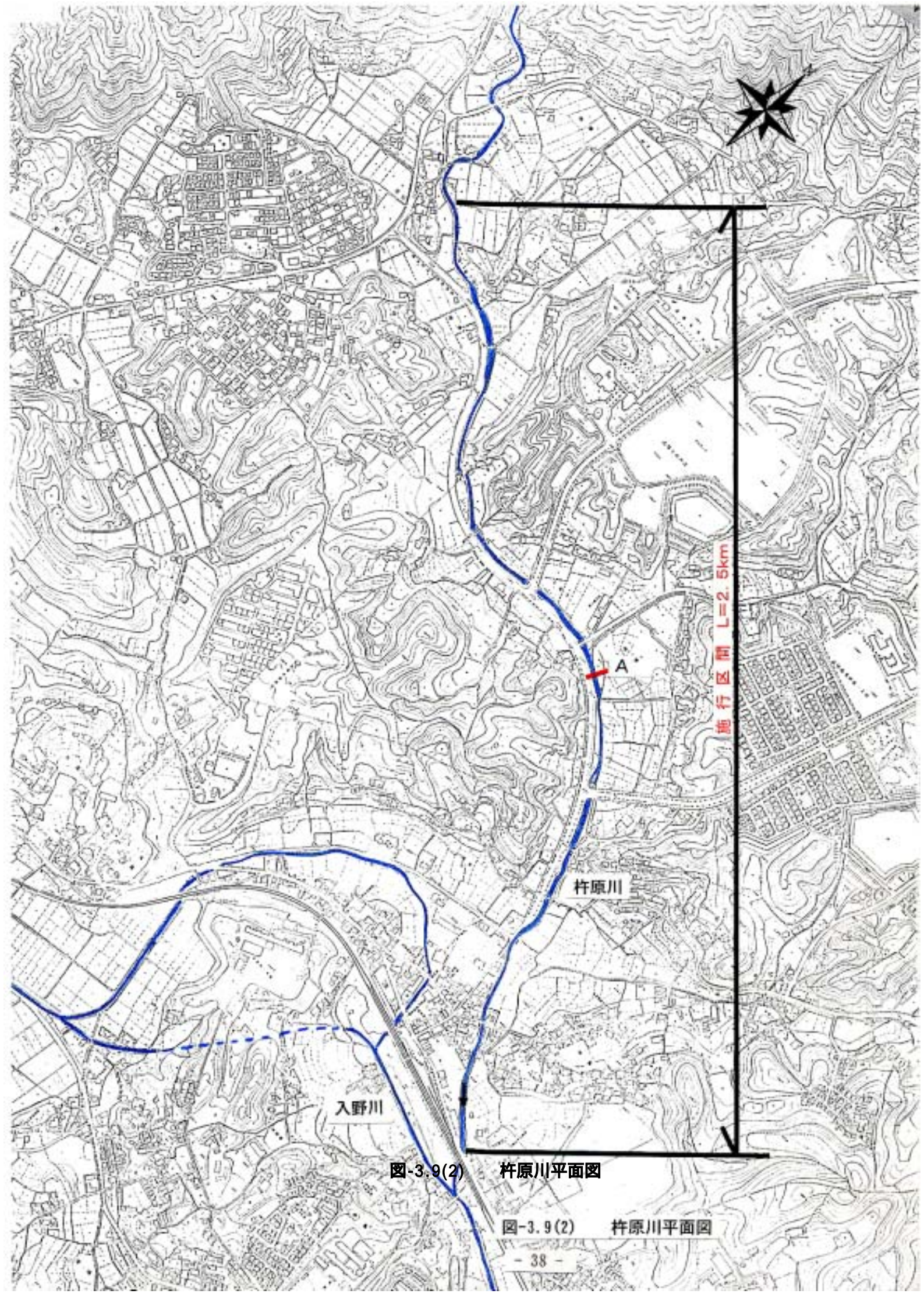


図-3.9(2) 杵原川平面图

図-3.9(2) 杵原川平面图

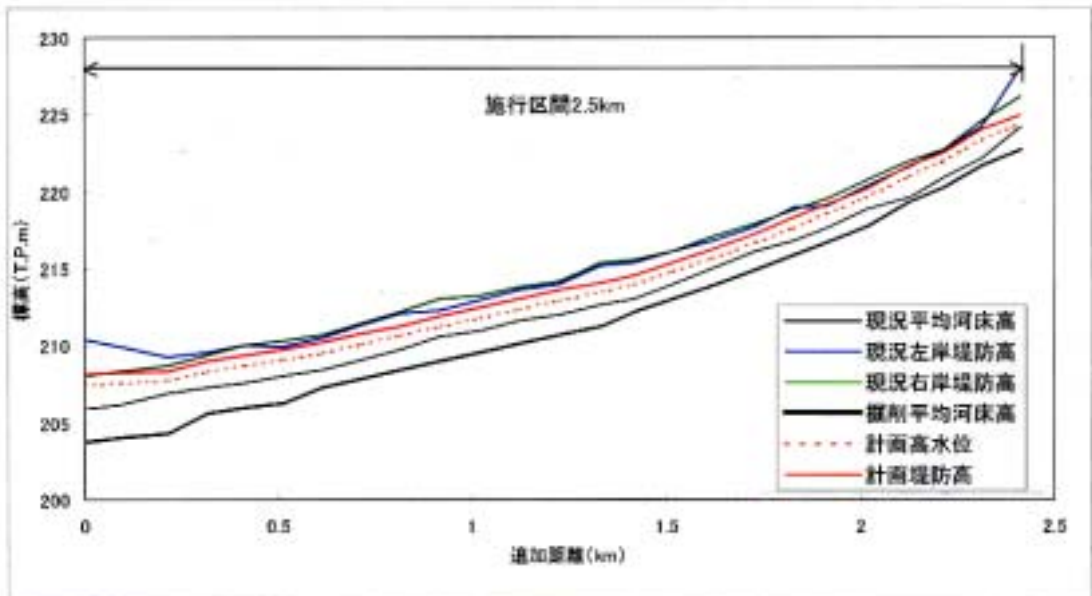


図-3.9(3) 杵原川縦断面図

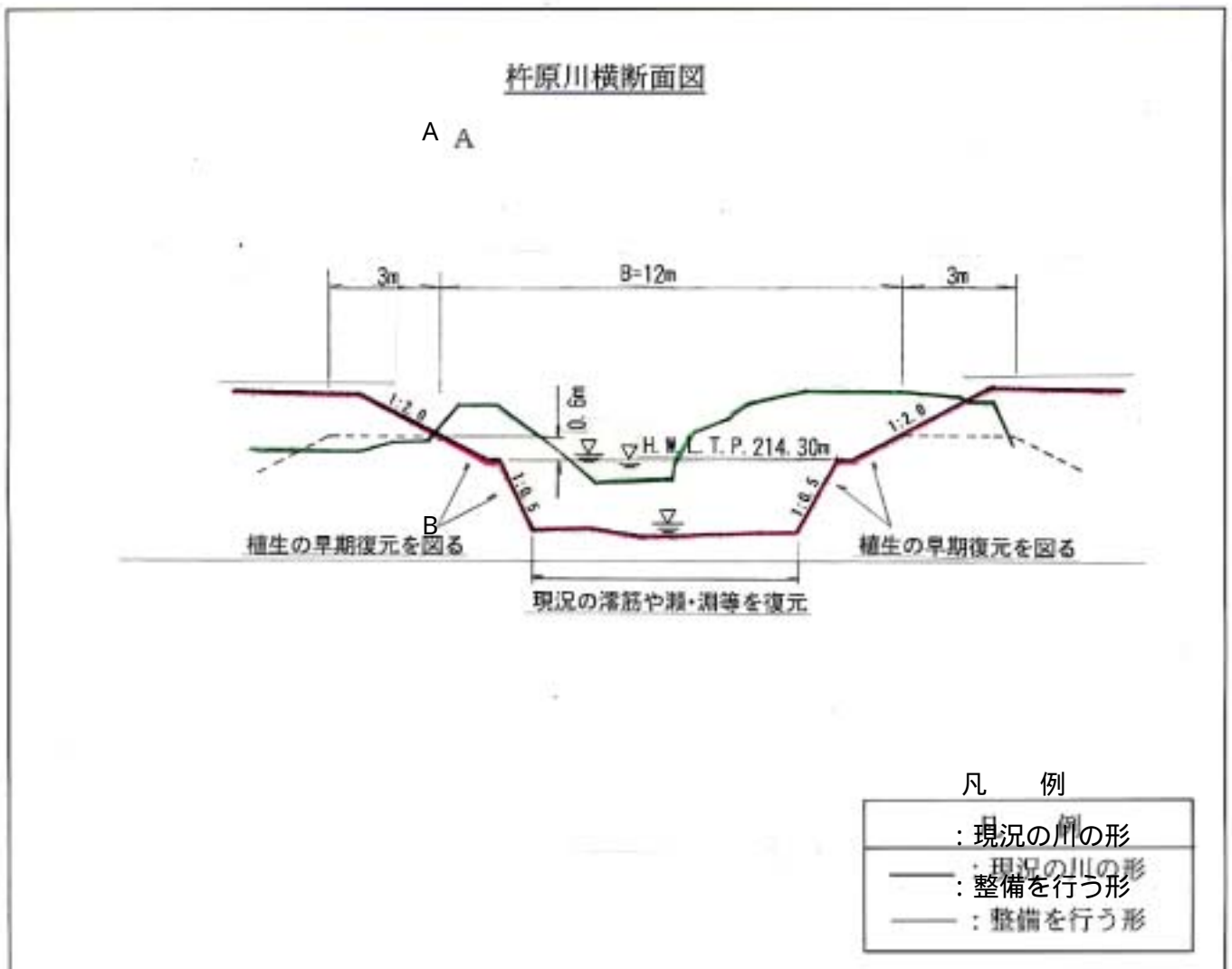


図-3.9(4) 杵原川横断面図

3.2 河川の維持の目的，種類及び施行の場所

3.2.1 河川の維持の目的

河川の維持管理は，地域の特性を踏まえつつ，洪水による被害の防止，河川の適正な利用，流水の正常な機能の維持，河川環境の整備と保全がなされるよう総合的に行います。

3.2.2 河川の維持の種類及び施行の場所

広島県知事管理区間においては，以下の河川維持を行います。

(1) 流下能力の維持

「3.1.1 河川工事の施行の場所」に示した河川（区間）以外で，平成 11 年 6 月 29 日洪水で家屋浸水被害が生じた地域について，同洪水相当の流量で再び被災することがないように，河床掘削や築堤など必要な対策を実施します。

(2) 河床の維持

長期の間にまたは出水により土砂が堆積し，洪水の流下の阻害となるなど治水上支障となる場合は，環境面も配慮しつつ掘削等必要な対策を講じます。また，出水等による河床の低下は，護岸等構造物の基礎が露出すると災害の原因となるので早期発見に努めるとともに，河川管理上の支障となる場合は適切な処理を行います。

(3) 植生の維持

良好な河川環境の保持を図る必要のある箇所草刈りや植木の管理は，地元住民と協力し行います。

(4) 護岸，堤防の維持

護岸，堤防については，法崩れ，亀裂，陥没等の異常について早期発見に努めるとともに，河川管理上の支障となる場合は適切な処理を行います。

(5) ダムの維持

貯水池について巡視及び堆砂測量等を行い，貯水池の状況を把握するとともに，ダム本体について変形量及び漏水等の測量を行います。また，観測設備，警報設備及び放流設備についても定期的な点検を行い，その機能の維持管理に努めます。